

2020 年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	田所 弘基
研究テーマ	日本近代文学と美術の相関に関する研究
研究概要	明治大正期の詩歌を中心に、文学作品と美術作品の表現方法の相関性について検討する。特に高村光太郎の短歌、詩作品にあらわれる美術評論の理論を手がかりに、同時代の文学者と美術理論の相関を明らかにする。

1. 研究活動の概要と研究成果	<p>① 高村光太郎『道程』の詩歌の読解 前年に引き続き、『道程』に収録された詩歌について検討した。特に、詩「師走十日」については、詳細に詩句の意図を検討し、下記記載の論文として発表した。</p> <p>② 高村光太郎の戦争協力詩の読解 「緑色の太陽」をはじめとする高村光太郎が執筆した大正期の芸術評論について、読解を進め、その思想が形成されるに至った影響関係について、同時代の美術評論や、評論中の語句との関連が考えられる資料と比較検討を行った。</p>
2. 学術論文・学会発表等	<p>学術論文：「師走十日」論—〈現実〉を想起させる場『高村光太郎研究』第 42 号、pp. 59-67、高村光太郎研究会（2021 年 4 月）</p>
3. 今後の課題	<p>今年度、おこなった詩の読解と芸術評論の調査については、両者が並行した状態であるため、今後は道程期の詩と芸術理論、また戦争期の詩と芸術理論を関連付けることを主眼にして研究を進める。</p>